

平成29年度当初予算 予算要求シート

事業区分： その他一般 マスタープラン： 3つの挑戦 / 施策番号 5-2

局・課名： 環境局・環境共生課

事業名	大気汚染監視事業	事業費(千円)	平成27年度決算額	平成28年度予算額	平成29年度要求額	
			61,902	82,853	81,026	
事業概要	【目的】 大気汚染防止法第18条の23及び第22条の規定に基づき大気汚染物質を常時監視測定することにより、市民の健康の保護及び生活環境の保全を図るとともに、汚染状況を把握することにより大気保全施策に資することを目的とする。	債務負担行為	期間		要求額(千円)	
			H ~ H			
	【内容】 本事業は法定受託事務であり、「大気汚染防止法第22条の規定に基づく大気の汚染の状況の常時監視に関する事務処理基準」を順守して行う。 ・環境基準が設定されている測定項目を重点的に、自動測定装置による測定と分析委託による濃度測定を行う。 ・大気汚染緊急時(光化学スモッグ)の措置に逐次対応するために、環境テレメータシステムの運用を行う。 ・測定精度維持のため保守点検を委託し、老朽化機器を更新する。 ・堺市独自の分析機関を所有していないことから、有害大気汚染物質の分析や微小粒子状物質の成分分析等を外部委託する。 関連事業として、大規模事業所の水質汚濁物質排出量監視、大規模排出ガス事業所の排出ガス濃度等の常時監視を行う発生源テレメータシステムの保守を行っている。	(単位:千円)				
	主な要求内容					
	項目	28年度予算	29年度要求額	内容・積算等		
	大気常時監視業務	61,272	50,065	消耗品費、修繕料、委託料、他		
	大気汚染物質調査業務	19,255	18,021	各種調査委託料等		
	環境テレメータ業務	1,998	12,695	各種業務委託料等		
	会議・研修会等	328	245	旅費、負担金、他		
	合計	82,853	81,026			
スケジュール(経過及び今後展開)						
【経過(～28年度)】 H25に環境大気テレメータシステムを更新 H27に発生源テレメータシステムの端末PC等を更新		【29年度】 測定局の老朽化したエアコンやガス検知器を更新 発生源テレメータシステムのソフト改修		【今後予定(30年度～)】 光化学オキシダントに関する指標の見直しに伴う、環境テレメータシステムの改修		
その他 特記事項						
関連事業:						
<p>一般大気環境測定局は適切な温湿度管理が求められことから空調機の設置は必須であり、また、安全対策としてガス検知器の設置も必須となっている。これらの空調機やガス検知器が老朽化していることから更新を行う。また、発生源テレメータシステムの収集系に不具合が蓄積し、復旧が困難なことから収集系システムのソフト改修を行う。</p>						